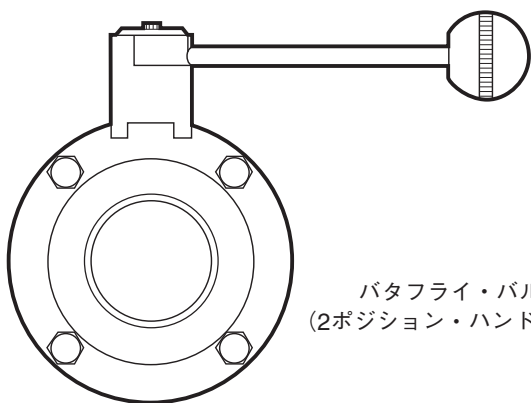
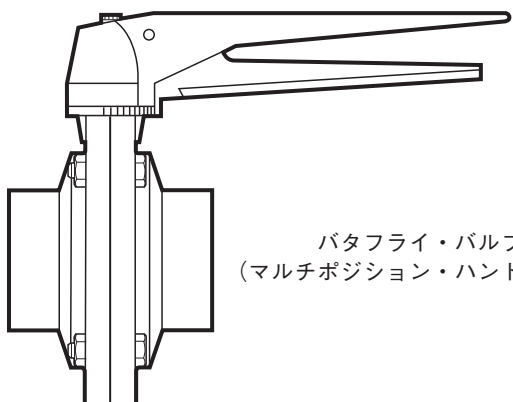


バタフライ・バルブ

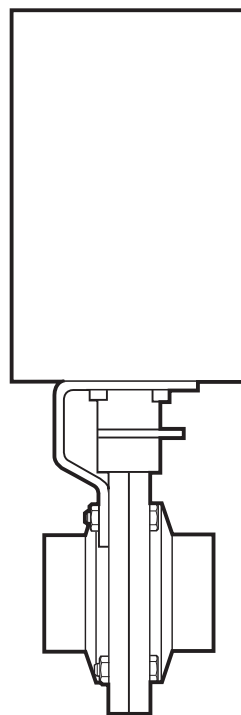
取り外し／再取り付け方法



バタフライ・バルブ
(2ポジション・ハンドル付き)



バタフライ・バルブ
(マルチポジション・ハンドル付き)



バタフライ・バルブ (空気作動式)

目次

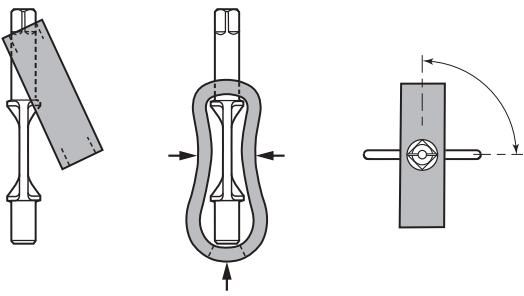
- シートの交換 2
- 外部近接スイッチ付きエアー・アクチュエーターの取り付け 4

シートの交換

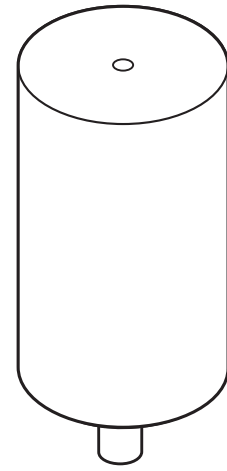
⚠ 警告

システムに取り付けたバルブのメンテナンスを行う場合には、必ず事前に以下の作業を行ってください。

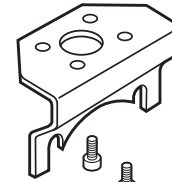
- システム圧力の開放（システムの圧抜き）
- バルブの開閉
- バルブのパージ

取り外し方法	
手動式バルブ	空気作動式バルブ
<ul style="list-style-type: none"> ■ ハンドル上部のプラグを取り外します。 ■ ねじを緩めてハンドルを取り外します。 ■ マルチポジション・ハンドルの場合：ドライバーをてこのように使用し、ポジショナーをフランジから取り外します。 ■ 上部ブッシングを取り外します。 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 圧縮エアがアクチュエーターから切り離されていることを確認します。 ■ 取り付け用ブラケットをフランジに接続している2個のボルトおよびナットを緩めます。 ■ アクチュエーターおよび取り付け用ブラケットを取り外します。 ■ ポジション・インジケーターを取り外します。
<ul style="list-style-type: none"> ■ フランジを接続しているナットおよびボルトを取り外します。 ■ フランジを分離し、バタフライ・ディスクおよびシート・アセンブリーを取り外します。 ■ プラグおよびブッシングをバタフライ・スピンドルの底部から取り外します。 ■ バタフライ・ディスクをまわして開状態にします。シートをバタフライ・ディスクから取り外します。その際、シートを強く押してバタフライ・スピンドルの端から抜き出し、バタフライ・ディスク・シャフトの端からスライドさせて取り外します。 	
再取り付け方法	
<ul style="list-style-type: none"> ■ バタフライ・ディスク・スピンドルおよびシートに、サニタリー・グレードの潤滑剤を塗布します。 ■ バタフライ・ディスクを開状態にしたまま、バタフライ・ディスク・シャフトをシートの穴に差し込みます。 ■ 図のようにシートを引き伸ばし、バタフライ・ディスク・スピンドルをシートの穴に差し込みます。 ■ バタフライ・ディスクおよびシート・アセンブリーを開状態の2個のフランジの間にはめ込みます。 ■ 両方のブッシングを底部プラグに再度取り付けます。 	
手動式バルブ	空気作動式バルブ
<ul style="list-style-type: none"> ■ ボルトおよびナットを取り付けます。十字交差の順に、21.4 N・mのトルク値で締め付けます。 ■ マルチポジション・ハンドルの場合：ポジショナーを取り付けます。 ■ ハンドルを開状態のバタフライ・ディスク・シャフト上にセットし、5/16インチサイズのレンチでねじを軽く締め付けます。 ■ 上部プラグを再度取り付けます。 ■ 実際に使用する前に、バルブの開閉を何度か繰り返し、バタフライがシートに対してスムーズに取り付けられているか確認します。 	<ul style="list-style-type: none"> ■ アクチュエーターを取り付ける前に、バルブの開閉を何度か繰り返し、バタフライがシートに対してスムーズに取り付けられているか確認します。 ■ 外部近接スイッチを取り付ける場合は、外部近接スイッチ付きエア・アクチュエーターの取り付けの項をご参照ください。 ■ ポジション・インジケーターをバタフライ・ディスク・シャフト上にはめ込みます。 ■ 取り付け用ブラケットをバルブにはめ込んでボルトを差し込みます。その際、上部の2カ所にはM8×35mmのステンレス鋼製六角ヘッド・ボルトを使用します。底部の2カ所には、バルブに同梱されている5/16-20ユニファイねじボルトを使用します。 ■ ボルトおよびナットを調節します（締め付けしないでください）。 ■ アクチュエーターを取り付け用ブラケットに取り付けます。その際、バタフライ・ディスク・シャフトをアクチュエーターに差し込みます。取り付け用ブラケットねじを差し込み、レンチで軽く締め付けます。 ■ バルブおよびポジション・インジケーターを希望する位置にセットします。 ノーマル・クローズ型：バタフライおよびポジション・インジケーターを開状態にします。 ノーマル・オープン型：バタフライおよびポジション・インジケーターを開状態にします。 複動型：バタフライおよびポジション・インジケーターを開状態にします。アクチュエーター上部にエアを供給すると、バルブが閉じます。アクチュエーター底部にエアを供給すると、バルブが開きます。 ■ 十字交差の順に、21.4 N・mのトルク値でボルトおよびナットを締め付けます。

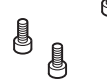
空気作動式



アクチュエーター



取り付け用
ブラケット



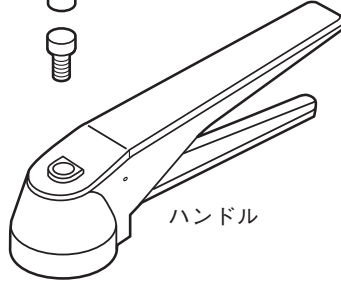
取り付け用
ブラケットねじ

マルチポジション・ハンドル

プラグ



ねじ



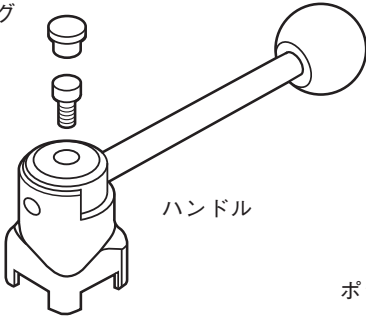
ハンドル

ポジショナー



2ポジション・ハンドル

プラグ
ねじ

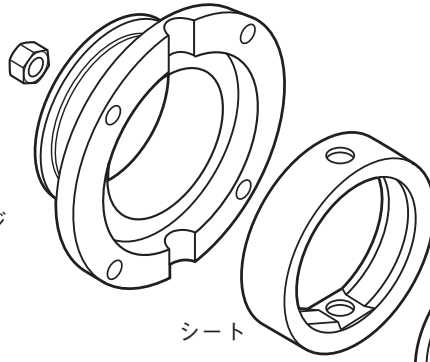


ハンドル

ナット



フランジ



シート

バタフライ・ディスク

バタフライ・ディスク・スピンドル

ブッシング



ブッシング



バタフライ・ディスク・シャフト



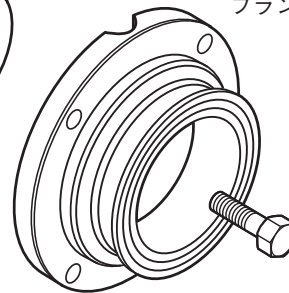
プラグ



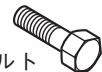
ポジション・
インジケータ



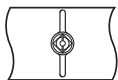
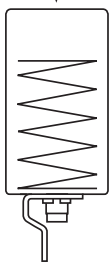
フランジ



ボルト

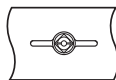
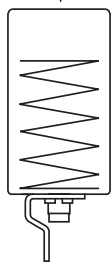


エア供給ポート



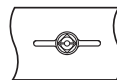
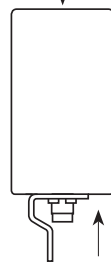
ノーマル・
クローズ型

エア供給ポート



ノーマル・
オープン型

エア供給ポート



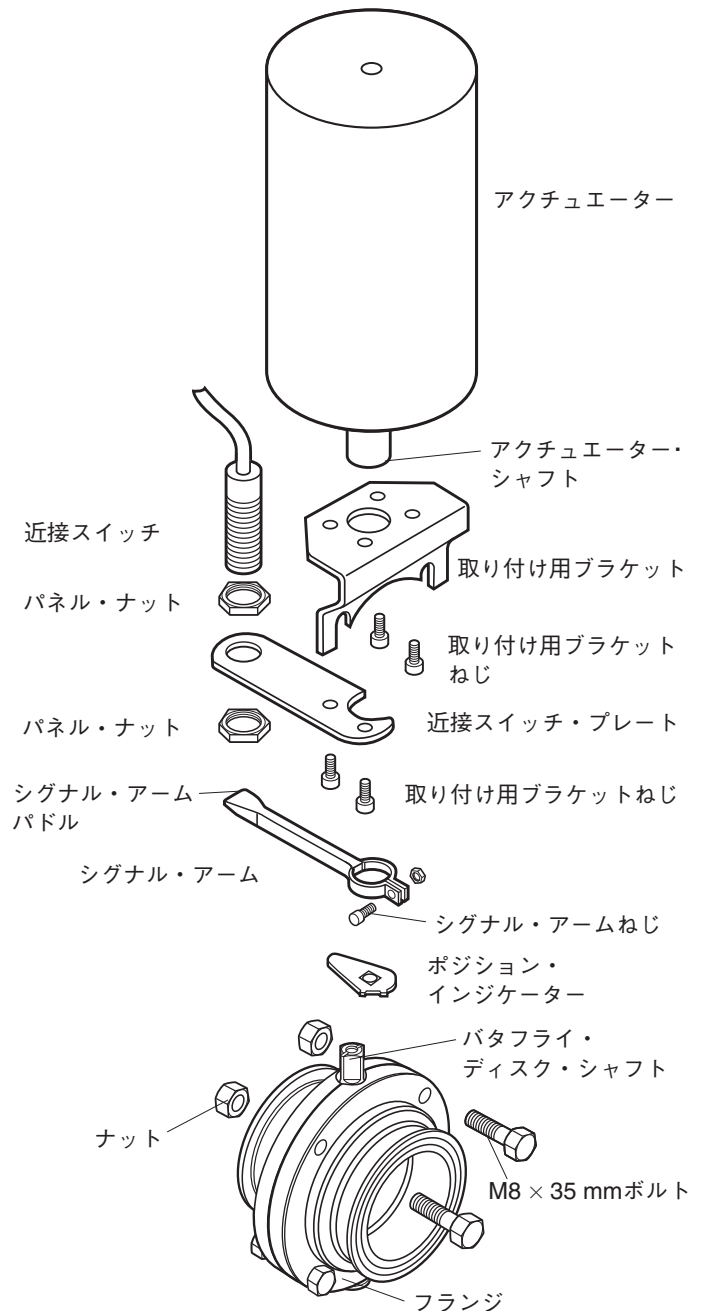
複動型

エア供給ポート

バルブ上面図

外部近接スイッチ付きエアー・アクチュエーターの取り付け

- 2個の取り付け用ブラケットねじを近接スイッチ・プレートおよび取り付け用ブラケットに差し込みます。2個の取り付け用ブラケットねじは、取り付け用ブラケットのみに差し込みます。4 mm サイズの六角レンチを使用し、4個すべてのねじをアクチュエーターに締め付けます。
- シグナル・アームねじを使用してシグナル・アームをアクチュエーター・シャフト上に取り付け、シグナル・アーム・パドルの位置を近接スイッチ・プレートの穴の下に合わせます。シグナル・アームねじをアクチュエーター・シャフトに締め付けます。
- パネル・ナットを近接スイッチ上に取り付け、近接スイッチを近接スイッチ・プレートの穴にセットします。近接スイッチの位置を調節し、シグナル・アームとの間に約 1.6 mm のスペースを空けます。2個目のパネル・ナットを取り付け、締め付けます。
注意：近接スイッチをシグナル・アームに接触させないでください。正しく機能しないおそれがあります。
- 上部の2個のボルトを取り外して破棄します。
- バルブを希望する作動位置にセットします。
ノーマル・クローズ型：バタフライ・ディスクを閉状態にします。
ノーマル・オープン型：バタフライを開状態にします。
複動型：バタフライ・ディスクを開状態にします。アクチュエーター上部にエアーを供給すると、バルブが閉じます。アクチュエーター底部にエアーを供給すると、バルブが開きます。
- ポジション・インジケーターをバタフライ・ディスク・シャフト上に取り付けます。(オプション)
- アクチュエーター・シャフトをバタフライ・ディスク・シャフト上にスライドさせます。
- ステンレス鋼製 M8 × 35 mm ボルトおよびナットをフランジ上部の2カ所に取り付け、取り付け用ブラケットに通します。
- 十字交差の順に、21.4 N・m のトルク値で全4個のナットを締め付けます。



安全な製品の選定について

安全にトラブルなく機能するよう、システム全体の設計を考慮して、製品をご選定ください。機能、材質の適合性、数値データなどを考慮し製品を選定すること、また、適切な取り付け、操作およびメンテナンスを行うのは、システム設計者およびユーザーの責任ですので、十分にご注意ください。

ご注意：他社部品との混用や互換は絶対に行わないでください。

この日本語版取り扱い説明書は、英語版取り扱い説明書の内容を忠実に反映することを目的に、製作いたしました。日本語版の内容に英語版との相違が生じないように、細心の注意を払っておりますが、万が一相違が生じた場合には、英語版の内容が優先されますので、ご注意ください。